

(会報特別号)

一般社団法人 あさひ経営

## はじめに



このたび当法人が推進した「働き方改革推進事業」は、賃金引上げと労働時間の適正化を両立させるための意欲的な取り組みとして、大きな成果を挙げました。単なる助成金活用にとどまらず、経営と現場が一体となって改革に挑みましたので、ここにご報告いたします。

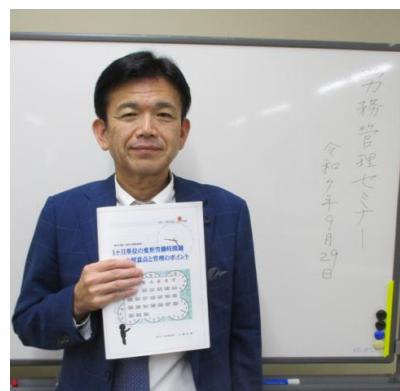
## 1. 事業の背景と目的

全国的な最低賃金の引上げが進む中で、香川県の中小企業は人手不足や経営圧迫など、複数の課題に直面してきました。本事業では、こうした課題を乗り越えるために、賃金引上げと労働時間の適正化を同時に実現する「持続可能な経営モデル」の確立を目的としました。経営者・労務担当者・従業員がそれぞれの立場で意識を変え、共に歩む姿勢を育むことが目標でした。

## 2. 取組の構成と推進の流れ

事業は、セミナー受講から法令知識の正しい理解から始まり、各企業の実情に合わせた改善策の提案、シフト作成支援ツールの導入支援、そしてポスターによる視覚的な普及啓発といった多面的なアプローチを展開しました。これらを一体的に推進することで、意識改革から行動変容へつながる仕組みを構築しました。経営者から従業員までが共通のビジョンを持ち、同じ方向に進む組織の形成が進みました。

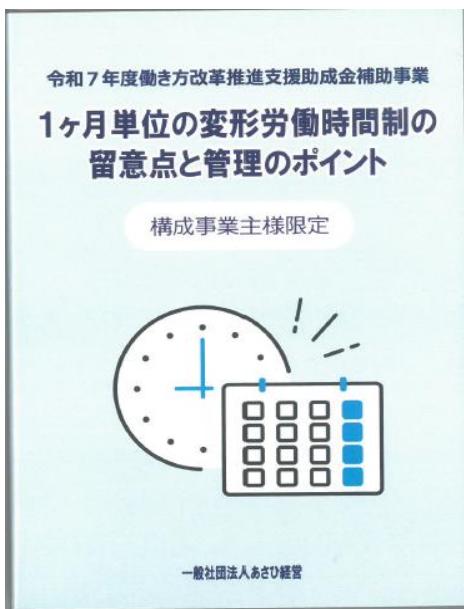
※セミナー風景



### 3. 実践の成果と現場の変化

セミナーでは、変形労働時間制の導入方法や36協定の正しい締結手続き、割増賃金の計算方法などを中心に実務的な学びを深めました。参加者からは「制度理解が実際の改善行動につながった」との声が多く寄せられ、学びが現場の変化へと直結しました。また、シフト作成支援ツールの導入によって、属人的だった業務がシステム化され、作業時間が従来の15時間から7時間以下へと半減していくことを目指しました。労働時間管理の精度が向上し、勤務間インターバルや計画的休暇の確保も容易になります。これは単なる効率化にとどまらず、働く人々の安心と信頼を生む結果となることでしょう。

①セミナーDVD



②貸出ツール



③ポスター





## 4. 意識変革と広がる波及効果

経営者の間では、「残業削減は経営改善である」という新たな価値観が定着しつつあります。従業員においても、働き方改革を自らの課題と捉え、勤務時間自己管理し、計画的に有給休暇を取得する意識が芽生えていると耳にしております。さらに、各社で掲示された普及啓発ポスターが職場の雰囲気を一新して「改革が息づく風景」が日常に定着することを期待しています。取引先や地域社会からの評価も高まり、「働き方改革に本気で取り組む企業」という信頼が広がっていくことでしょう。

## 5. 社会的意義と地域モデルの確立

本事業の成果は、短期的には労働時間の適正化と残業削減、長期的には人材定着率と生産性の向上が実現し、地域全体の経営体質改善に寄与することだと思います。「賃金引上げ」と「労働時間適正化」を同時に推進するという難題に正面から取り組んだ本事業は、今後の事業運営に大きな価値を持ちます。

## 6. 今後の展望

AI や DX の進展により、労務管理の在り方は今後さらに変化していきます。更なるデジタル技術を活用した効率化や、人材育成を通じた質の向上に取り組むことが求められます。また構成事業主同士の連携を強化し、成功事例の共有や横展開を進めることで士気を高め全体を「働き方改革の先進」へと導くことを目指したいと考えています。

### 事務局より…

この成果は、会員の皆様一人ひとりの努力と情熱の賜物です。「変わる勇気」「挑戦する姿勢」「人を大切にする心」が結びつきます。次なる発展の段階へと共に歩み続けること、また働く人が誇りを持って企業が持続的に成長できる地域社会の実現を目指し、皆様と共に挑戦を続けてまいります。